

1. 日時 令和7年8月7～8日
2. 研修先 諏訪市市役所 伊那市市役所
3. 参加者 望月委員長、細川副委員長、森委員、松井委員、堀田委員、奥村委員、中土委員、永田委員、上野議長
事務局随員 西田局長
4. 視察内容

(1) 諏訪市役所 ・議会改革アドバイザー導入による取り組みについて

諏訪市議会アドバイザー制度は、議会のさらなる資質向上と改革を実現するために、外部の専門家を「議会改革アドバイザー」として委嘱する制度です。

- ・地方議会のデジタル化、議運、議会改革、議会力、議員力の向上を図り、政策提言・立案の強化具現化に向け、令和6年5月より議会改革において実績のある岩崎氏に「議会改革アドバイザー」委嘱し、具体的な課題解決や新しい議会改革の取組みを推進。
- ・具体的には、議会運営やICT化、市民に開かれた議会など、多岐にわたる分野で専門的な知見を持つアドバイザーから助言や指導を受け、議員のスキルアップや議会改革を進めることを目的としています。
- ・この制度により、市民は市政への理解を深め、自身の意見を議会に反映させる機会を得ることができます。また、議員にとっては、市民の声を直接聞くことで、より市民ニーズに即した政策立案に繋げることができます。
- ・岩崎氏をアドバイザーとして講師に迎えるにあたり、講師予算がない中、毎年議員報酬の中から21,000円を徴収して岩崎講師を招いて市政会として全員参加で研修会を行い、市民に役立つ議会として他市議会を知り、未来に向けた基本的なレクチャーを進めた、個々の議員の意識変えが必要、言葉だけの改革は足りない、研修会のあと懇親会で議員がアドバイザーとお話をするで、議員の資質向上・議会力アップに繋がる。

- ・議会がワンチームになる必要がある、そこで最初の研修がハラスメントについて、アンケート調査を行うなど、議員各自が変われば議会が変わる。外部からのアドバイザーの刺激が入ることで、一歩立ち止まり考える力が、養われる。今後の方向性が立てやすくなる。

考察

① 細川副委員長

- ・議員個人の資質を高めること、市議会全体の資質向上を図ることを目的に「議会改革アドバイザー制度」を導入され、取組まれていることに感銘を受けましたし、湖南市議会でも導入できればと思います。

- ・議会がワンチームになるためには、全議員の意識改革が必要であるとし、異論や反対等ある中で討論の充実を図り、合意形成に努め、進めていかれていることは、学ぶべきであると思いました。
- ・議会だよりモニター制度も取り入れてはと思う。

② 永田委員

- ・各議員報酬の中から21,000円を徴収して、講師を招かれ議会改革を進めようとする、諏訪市議会の皆さまの熱意を感じることができ、外部からのアドバイスにより、一歩立ち止まり考える力と余裕が養われると、謙虚に受け止められていることに、私自身、大変刺激を受けました。

③ 森委員

- ・議会改革アドバイザー制度の導入については、議員の資質向上により議会力アップを目指す取り組みには共感を覚えた。本市議会においても参考にすべきだと考えた。
- ・議会基本条例の制定は湖南市議会より遅いが、毎年検証している点は見習うべきである
- ・本市議会においても本年度検証を実施したので来年度以降の検証の参考にすべきである。

④ 奥村委員

- ・外部アドバイザー委嘱の経緯や役割について、理解が深められた。
- ・知見があり、第三者的目線で議会運営に物言える「経験者」を自ら探され委嘱され議員の資質向上と議会運営の改善に尽力されておられた。
- ・議会だよりモニター制度でも、「外部の意見を素直に聴こう」という姿勢は素晴らしいと感じた。

⑤ 堀田委員

- ・アドバイザーの委嘱で様々な課題解決に向けて取り組んでおられる事に敬意を表するものです。市民に開かれた議会として市民懇談会を定期的で開催され、多様な意見を聴取して議会改革に活かしていこうと活動をされている。湖南市議会でも様々取り組んでいるところであるが、今後の参考としていきたい。

⑥ 松井委員

- ・議会改革アドバイザー制度は、別に取り入れなくてもよいと感じた。(伊那市はなくても改革をされているので)
- ・議会だよりのモニター制度を取っておられるので、その声が活かされている。
(見やすい用語解説や文字が太字になっていて読みやすい。カラーも工夫されている)
- ・議員研修の充実強化を議会基本条例で謳っておられ、常任委員会ごとに具体的なテーマを決めて、先進地視察も行い、常任委員会でもっと深掘して、政策提言をされていると感じた。

⑦ 中土委員

- ・慣習に囚われやすく議員間の関係性も影響を与える議会において、内部の議員だけで改革を進めようとするよりも外部のアドバイザーをつけることで、遠慮や付度のない意見がもらえたり、内部の議員にはない視点の意見がもらえたりするメリットがあると感じた。同時に、その意見を議会改革の推進に有効に活用するには、議員側に謙虚さが必要であるとも感じた。

(2) 伊那市議会 サポーター制度導入の議会運営と議会改革の取り組みについて

令和3年度から、市民参加を増やすため、議会政策（市民）サポーター制度の導入
伊那市議会政策サポーター要綱の制定（令和6年12月18日）

伊那市議会サポーター制度は、市民の意見を議会活動に取り入れ、開かれた議会を推進することを目的とした制度です。

（令和3年度まで 市民との接点は、主に市民と議会との意見交換会だけであった。市民参加の機会を増強するために、議会改革特別委員会を設置し、調査研究を行う。）

- ① 市民参加の促進・・・市民の市議会への参加を促進し、開かれた議会を推進すること。市民が議会に意見を述べる機会を設け、政策立案に市民の声を反映させます。
（議員だけでなく市民も一緒になって地域の課題を考え、より良いまちづくりを目指しています。）
- ② 「市民サポーター」・・・市内に住んでいる、または市内の企業や学校に通勤・通学している市民。常任委員会が調査研究を行う際に、市民の意見を把握するために議員と意見交換を行います。
- ③ 「専門的サポーター」・・・ 学術、文化、福祉、教育、経済など、特定の分野で専門的な知識や経験を持つ人。政策立案や議案審査の際に、専門的な視点から意見を述べます。
- ④ 「任期」・・・ 市民サポーターの任期は2年を限度とします（再任も可）。
- ⑤ 「役割」・・・ 委員会での参考意見の表明や、議員との定期的な意見交換などを行います。
- ⑥ 「構成」・・・ 市民サポーター 15人以内（市内に居住又は市内の企業、学校等に就労・就学し者）
・・・ 専門的サポーター 5人以内（学術、文化、福祉、教育、経済等の各分野における専門的な知識及び 経験を有する者）

[現在の取組]

1) 市民サポーターの活動状況について

- ① 令和6年10月7日（社会委員会）【内容】屋内の子どもの遊び場について意見聴取
- ② 令和6年11月20日（総務文教委員会）【内容】市内小中学校のプールの現状と水泳授業の対応について意見聴取
- ③ 市民と議会との意見交換会への参加呼び掛け
- ④ 議会だよりに対する意見の聴取

2) 専門的サポーターについて

- ① 各常任委員会が所管事務調査等を行う中で、必要に応じて委嘱するが、現在のところ、委嘱の予定はない。

[サポーター制度以外の議会改革の取組]

- 1) 議会便りの毎月発行
- 2) 傍聴規則、委員会傍聴規則改正
- 3) 小学生、中学生、高校生の議会傍聴
- 4) 全議員参加の「魅力ある議会づくり検討会」を設置（平成30年6月）

市民との意見交換会の開催特に、高校生との定期的な意見交換会実施

5) 議員自己紹介動画公開

これらの活動もあり、「議会改革度調査」では、平成29年38位、令和元年39位、令和4年18位、2桁代に3回もランクアップされた。

考察

① 細川副委員長

- ・議会政策サポーター導入により、議員間討議がより活発になり、議会の傍聴者数も増加しており、議会への市民の関心が高まっていると思いました。
- ・高校生との意見交換会や中学生キャリアフェスは、是非とも湖南省議会でも取り入れるべきであると思いました。

② 永田委員

- ・令和6年度からありますが伊那市議会のサポーター制度の導入には各分野に精通された人選で、諸問題の意見徴収には最も有効な手段かと思います。
- ・湖南省も伊那市議会がされている、サポーター制度を取り入れることで、より幅広く中身の濃い意見徴収ができ、議会運営と議会改革に役立つのではないのでしょうか。

③ 森委員

- ・議会政策サポーター制度の導入による市民の意見を取り入れることには意義を感じた。本市議会においても市民の意見を取り入れる手法について検討すべきであると感じた。
- ・議会報告会においては共通した課題があることを確認した。その上で、高校生を中心とした取り組みは参考にして、本市議会の取組みを模索すべきだと感じた。

④ 奥村委員

- ・市民や専門家からの意見を聴く、政策に反映させる、加えて市民参画の「開かれた議会にしたい」との思いは、議会の機能強化を図るうえで参考になった。

⑤ 堀田委員

- ・伊那市議会ではアドバイザーを置かずに自分たちで考えて方向性を決めるやり方で諏訪市議会とは対照的であると感じました。
- ・議会改革特別委員会では、市民と議会との意見交換会をくまなく開催され、高校生との意見交換会も実施して、これらの会議から出された意見を集約しながら、提言書を取りまとめて政策提言に繋げておられます。年に二回提言をするには相当の時間と労力が必要と思われます。今後の湖南省議会の議会運営に多いに参考になった研修でした。

⑥ 松井委員

- ・議会からの政策サイクルの1年の流れを説明頂きましたが、市民懇談会やサポーター、高校生等からのように外部からの意見や議会審議の意見等を言い放し、聞き放しにせず、テーマの候補抽出に入れておられていることは、大事であると感じました。アウトプットができています。
- ・高校生の議会傍聴や意見交換会の実施を継続されていて、若者の生の声を聞く機会を設けて

おられるのがよい。

- ・高校生が子育て中の保護者にアンケートを取って、切実な声、子育て環境改善を求める 請願書を議会に提出するなど画期的な成果が生まれてきている。
- ・地域の企業や団体の協力により(80 社も)、中学生キャリアフェスを行っておられるのも非常に良い企画ですし、湖南省でも中学生・高校生向けにこのような取り組みができれば、若者の流出を少しでも止められるのではと感じました。(湖南省も若い女性の流出が多い)

⑦ 中土委員

- ・議会からの政策サイクルが1年サイクルで定められており、湖南省議会においても、例えば中学校生徒会サミットをチャレンジシステムの流れに乗せることに関しても、時期を定めた政策サイクルの流れを決めていくべきだと感じた。
- ・意見交換会や中学生キャリアフェスなど、個々の議員としてではなく議会として、積極的に表に出て活動されており、湖南省議会ももっと議会として表に出て活動を行うことが、議会に関心を寄せってもらうための第一歩であると感じた。

研修総括

- ・今回、①議員の資質向上 ②議会力アップ ③市民への開かれた議会 ④期待される議会に向け、

「諏訪市議会の議会改革アドバイザー導入による取り組み」

「伊那市議会のサポーター制度導入の議会運営と議会改革の取り組み」を研修しました。

各委員からの考察にもありますが、私達湖南省議会議員の資質向上・議会力アップへ、取り入れ、取り組みたい項目が多くありました。議会力は、議員一人一人の資質の集合体です。今回の研修で知り得た知見や体験を各委員が、それぞれの「立場」から「核」となり、拡散され、これからの「湖南省議会の議会力アップ」に繋がる事を期待して、委員長総括とします。

令和7年8月 20 日

議会運営委員会

委員長 望月 卓